

申込必須
参加無料

アフリカ人のディアスポラを描いた小説で世界的に知られる
コンゴ生まれの作家アラン・マバンク氏 (UCLA教授) を招聘し、
フランス語圏アフリカ文学とは何かを考える。
同氏の『アフリカ文学講義:植民地文学から世界—文学へ』の
続編ともなる本講演は世界文学への格好の導きの糸ともなるだろう。

日 時
2026年 **11月6日** 金
16:40~18:10

会 場 名駅キャンパス WLALi (ヴラリ)

共 催 外国語学部 フランス語学科、
ワールドリベラルアーツセンター

対 象 どなたでもご参加いただけます

定 員 20名

使用言語 フランス語 (日本語通訳あり)

【申込み方法】

準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。
右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、
下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を
入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20261106f>



【応募締切】

11月1日 (日) 23:59まで

応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

アラン・マバンク氏

1966年、コンゴ共和国生まれ。現地の大学を終え、22歳の時にフランスの大学に渡り法学の学位を得る。その後フランスで法律コンサルタントとして働きながら詩と小説を発表する。2002年に渡米、2026年からUCLAの正教授 (現在は卓越教授) として文学とクリエイティブ・ライティングを教える。2015年、作家として初めてフランスのコレージュ・ド・フランスの招聘教授として連続講義を行い、『アフリカ文学講義—植民地文学から世界—文学へ』 (みすず書房) を出版。アフリカ系移民のディアスポラを語る小説を多数執筆している。代表作に『もうすぐ20歳』『割れたガラス』『ヤマアラシの回想』。現在最も知名度の高いフランス語系アフリカ作家であり、2015年と2017年にはブッカー賞にノミネートされるなど、世界的にも高い評価を得ている。



文学における国籍

アフリカ文学はフランス文学か？

アラン・マバンク (作家、UCLA教授) 講演会



イベントの開催にあたって

◎本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。イベント中は記録用として撮影を行います。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。

本学へのアクセスについて

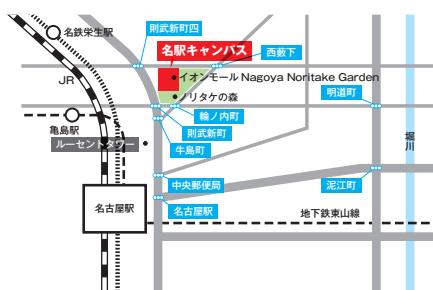
〒451-0051
愛知県名古屋市西区則武新町3丁目1番17号
BIZrium名古屋6階

問い合わせ先

名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

TEL 0561-75-2164 (直通)

Email wlac_gg@nufs.ac.jp



イオンモール店内から名駅キャンパス (オフィスビル: BIZrium名古屋6階) へは行けませんので、こちらの写真にあるBIZrium名古屋のエントランスからご入館ください。